

山口県病院協会 会報

2016 **7月号** No.52

- 発行日 平成28年7月1日
- 発行所 一般社団法人山口県病院協会
〒753-0814 山口市吉敷下東三丁目1番1号
- 電話 083-923-3682
- FAX 083-923-3683
- 発行人 木下 毅
- 印刷所 大村印刷株式会社
- メールアドレス info@yha.or.jp
- ホームページ <http://www.yha.or.jp>



独立行政法人国立病院機構 山口宇部医療センター

〒755-0241

宇部市東岐波685番地

電話 0836-58-2300

FAX 0836-58-5219

URL : <http://www.yamaguchi-hosp.jp/>

CONTENTS (目次)

会員病院紹介.....	2 ページ
平成28年度定時総会.....	3 ページ
優良従業員表彰 受賞者一覧.....	4～5 ページ
協会役員コーナー.....	6 ページ
病院スタッフコーナー.....	7 ページ
諸会議報告.....	8 ページ
研修会報告.....	9 ページ
事務長部会コーナー.....	9 ページ
お知らせコーナー.....	10ページ

会員病院紹介

病院長挨拶



独立行政法人
国立病院機構
山口宇部医療センター
病院長 松本 常男

このたび発生しました熊本・大分地震で被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

平成28年4月1日付けで、上岡博先生の後任として、院長を拝命いたしました。

私は、昭和51年に山口大学を卒業しました。当時研修医は非入局でしたので、1年目は放射線科と第2内科を半年ずつ、2年目に徳山中央病院放射線科で研修後、昭和53年に山口大学放射線医学教室に入局しました。頭から足先までの診断と治療ができる科、「何でもできるんだー」ということで中西敬教授の放射線科を選択しました。当時は、CTはありませんでしたが、単純写真以外に上部・下部消化管X線透視、RI、消化管内視鏡、気管支鏡、ベータトロンなどいろいろな検査、治療に携わっていました。呼吸器や消化管では良性疾患の診断と治療、悪性疾患は診断から放射線治療のみならず抗がん剤を使った治療にもあたってきました。ところが、今は、呼吸器の画像診断と肺癌検診と診療領域を狭め、専門性を高めており、大きくその方向性は変化してしまいました。

当院も、重症心身障害児（者）と呼吸器、がんの専門的診療と、専門分野に特化した病院です。専門病院として、ガイドラインに示される一般的診療、専門スタッフによる豊富な経験に基づいた医療、治験・臨床研究などの先駆的医療を融合して、この地域の患者さんのニーズにお応えできるような病院作りを目指していきます。

今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

〈山口宇部医療センター病院の現況と特徴〉

当院は広大な敷地面積を持ち、瀬戸内海を見下ろす高台にあり四季を通じて景観に優れた立地条件にあります。

設立当初は、国立療養所山陽荘の名前で結核診療を主としていました。結核患者数の減少に伴い、重症心身障害児（者）の療育を開始し、さらに呼吸器疾患の診療を積極的に行うようになり、また平成10年には緩和ケア病棟を開棟し、がん診療に本格的に取り組むようになっていきます。平成20年に、山陽病院から現在の病院名である「山口宇部医療センター（山口がん・呼吸器センター）」に変更し、がん、呼吸器疾患の専門診療と重症心身障害児（者）の診療／療育を主とした診療にあたっています。

病院の理念は「患者の権利を尊重し、最新の医学知識に基づく医療を提供する」です。

当院は、国立病院機構という全国143の国内最大級の病院ネットワークの一員です。機構では、全国レベルで診療機能分析を行ったり、病院間で相互監視を行い、医療の質や安全性の向上に努めています。

「特定領域がん診療連携推進病院（肺がん）」の指定を山口県より受けており、がんの全経過で専門的医療が行える診療体制をとり、研究部門として臨床研究部も設けています。決して広い範囲の診療を行っているわけではありませんが、やっている領域では、全国的にも知られている病院です。

呼吸器、緩和、結核、重症心身障害児（者）診療の研修が行える施設として、県内の基幹病院や学校から医師、看護師、薬剤師、学生などが研修に訪れており、新たな専門医制度が開始されれば、基幹施設の協力病院の役割も果たしていきます。

専門施設として、時代と地域に調和した病院であり、かつ、世界に情報を発することのできる病院を目指しています。

平成28年度 定時総会開催

日時 平成28年5月25日（水）15：00～16：15

場所 山口市小郡黄金町1番1号

山口グランドホテル 鳳凰の間



開 会

天津昇次事務局長より開会宣言がなされ、木下毅会長は挨拶で、山口県地域医療構想が6月6日の医療審議会で決定され7月に公表される予定であり、各病院の対応が必要となると述べた。

その後、来賓の村岡嗣政山口県知事（代理・山口県副知事 弘中勝久氏）、畑原基成山口県議会議長（代理・県議会環境福祉委員会委員長 二木健治氏）、小田悦郎山口県医師会会長（代理・山口県医師会副会長 濱本史明氏）よりそれぞれ祝辞が述べられた。



弘中勝久氏



二木健治氏



濱本史明氏

次いで、病院優良従業員の表彰状授与式が行われ、受賞者72名を代表して小郡第一総合病院の山本久美子氏に表彰状と記念品が授与された。



山本久美子氏

総会成立宣言

審議に先立ち、木下議長より、総会出席者は当協会の会員総数135名に対して110名（うち委任状66名）であり、総会が有効に成立する旨宣言された。

議事録署名人選出

本日の議事録署名人として、宇部興産中央病院福本特別顧問並びに関門医療センター林院長を選出した。

議案審議

○議案第1号

「平成27年度一般社団法人山口県病院協会事業報告及び収支決算の承認について」

天津事務局長より、平成27年度に実施した各種事業内容について詳細な説明と報告がなされた。さらに、平成27年度における当協会の収支決算状況について、収支決算書に基づき詳細な説明、報告があり、続いて城甲監事より平成27年度の事業並びに決算関係資料について、尾中監事とともに詳細に検討した結果、いずれも適正かつ適切に処理されている旨監査報告が行われ、審議の結果、原案どおり可決承認された。

報 告

議案の審議終了後、天津事務局長より、昨年度より報告事項となった平成28年度事業計画及び収支予算について詳細に説明が行われた。

閉 会

木下議長より、本日の定時総会はすべて終了したことが告げられ、議事の進行への協力に対する感謝の意を述べ閉会が宣言された。

◎ 特別講演

定時総会終了後、山口大学学長の岡正朗氏による特別講演「山口大学 未来への挑戦」が行われ、63名が出席した。

講演で岡氏は、大学の将来にとって少子高齢化、グローバル化、人工知能の進展等を視野に入れた人材育成が重要であり、その為の様々な取組みがなされていることを紹介された。一方で、地方の国立大学が担う役割として地方創生への貢献も上げられ、育てた学生の県内定着促進事業についても説明。人材の確保定着は山口県の医療界にとっても課題であり、参加者達は熱心に耳を傾けていた。



岡 正朗氏



講演会風景

受賞おめでとうございます

平成28年度 病院優良従業員表彰 受賞者名簿

病 院 名	役 職	姓 名
阿 知 須 共 立 病 院	看 護 師	久 米 初 代
〃	医 事 職 員	村 田 久 美 子
泉 原 病 院	看 護 主 任	林 貢
〃	作 業 療 法 主 任	渡 辺 史 朗
岩国市医療センター医師会病院	放 射 線 技 師 長	木 下 裕 之
〃	薬 剤 副 部 長	中 川 哲 志
宇 部 記 念 病 院	看 護 部 長	東 由 利 子
〃	ク ラ ー ク	福 山 美 由 紀
宇 部 第 一 病 院	歯 科 衛 生 士	大 島 佳 子
〃	保 育 士 助 手	末 富 良 子
宇部リハビリテーション病院	看 護 主 任	武 田 佳 子
〃	介 護 福 祉 士	田 中 紀 代 美
大 田 病 院	准 看 護 師	佐 藤 俊 二
〃	看 護 師	杉 村 和 子
岡 田 病 院	臨 床 検 査 主 任	植 木 伸 恵
〃	看 護 補 助 者	竹 原 佳 子
小 郡 第 一 総 合 病 院	看 護 主 任	高 井 真 由 美
〃	健 診 セ ン タ ー	山 本 久 美 子
〃	事 務 主 任	
小 郡 ま き は ら 病 院	看 護 師	堀 英 子
〃	精 神 保 健 福 祉 士	松 原 由 香 里
尾 中 病 院	事 務 職 員	秋 本 都
〃	看 護 補 助 者	石 川 伸 代
鹿 野 博 愛 病 院	看 護 師	亀 谷 房 子
吉 南 病 院	准 看 護 師	中 村 美 智 子
厚 南 セ ン ト ヒ ル 病 院	准 看 護 師	関 由 美 子
光 風 園 病 院	看 護 主 任	佐 々 木 晶 子
〃	看 護 師	中 村 ひ ろ 子
坂 本 病 院	看 護 師	木 須 和 香
〃	准 看 護 師	高 村 ス エ ミ
佐 々 木 外 科 病 院	看 護 師 長	高 三 輪 和 江
重 本 病 院	准 看 護 師	下 村 博 子
〃	准 看 護 師	中 村 庸 子
周 南 記 念 病 院	診 療 放 射 線 科 長	玉 野 敏 彦
〃	臨 床 検 査 科 長	中 村 博 之
周南リハビリテーション病院	介 護 福 祉 士	桑 原 京 子
〃	介 護 福 祉 士	藤 本 千 賀 子

病 院 名	役 職	姓 名
桑 陽 病 院	総 務 部 長	佐々木 哲 夫
〃	准 看 護 師	竹 山 美 紀
田 代 台 病 院	栄 養 科 長	岩 本 淑 子
〃	保 育 主 任	平 岡 浩 子
徳 山 医 師 会 病 院	集 配 員	坂 田 ふ じ 子
〃	看 護 助 手	中 村 鈴 枝
徳 山 静 養 院	准 看 護 師	竹 下 育 子
〃	准 看 護 師	藤 本 み ゆ き
徳山リハビリテーション病院	理 学 療 法 士	佐 藤 啓 介
〃	看 護 師 長	長 尾 和 美
西 尾 病 院	看 護 師	松 浦 美 和 子
錦 病 院	看 護 師	篠 川 智 子
仁 保 病 院	准 看 護 師	岩 田 浩 子
〃	相 談 部 部 長	佐 内 節 子
福 永 病 院	准 看 護 師	出 口 寿 代 子
〃	准 看 護 師	山 下 洋 子
防 府 病 院	診 療 課 長	河 嶋 和 隆 信
〃	看 護 課 長	山 本 枝 美 子
防 府 保 養 院	准 看 護 師	中 野 幸 子
防府リハビリテーション病院	介 護 士	田 村 シ ズ エ
〃	准 看 護 師	山 本 妙 子
松 本 外 科 病 院	看 護 師	加 賀 大 今 日 子
三 田 尻 病 院	医 事 補 助 者	大 藤 中 葉 子
〃	准 看 護 師	田 岡 朝 子
み ど り 病 院	介 護 福 祉 士	市 佐 上 弘 子
〃	看 護 師	植 村 か お り
安 岡 病 院	事 務 課 長 代 理	獅 子 谷 知 子
〃	看 護 主 任	河 田 聖 示
柳 井 病 院	准 看 護 師	横 道 美 和 子
〃	看 護 師 長	宇 都 宮 淑 子
山 口 大 学 医 学 部 附 属 病 院	調 理 主 任	溝 口 豊
〃	看 護 師 長	岡 田 光 子
山口リハビリテーション病院	医 療 事 務	松 坂 浩 作
〃	看 護 師	田 村 光 栄
湯 野 温 泉 病 院	リ ハ ビ リ 助 手	山 田 八 重 子

受賞者人数 72名

協会役員コーナー

医師の需給推計と地域医療



一般財団法人
防府消化器病センター
防府胃腸病院
理事長 三浦 修

本年5月の「医療従事者の需給に関する検討会、医師需給分科会中間とりまとめ（案）」によると、医学部定員について、平成15年以後の7,625人に対して、平成20年度からの「新医師確保総合対策」や平成21年度からの「緊急医師確保対策」、平成22年度からの「地域医療再生計画等」などで徐々に増員され、平成28年度には過去最高の9,262人の医学部定員となっています。

今回の推計は、2025年のあるべき姿の地域医療構想を踏まえて、病床機能区分ごとにそれぞれに必要な医師数を見込み、医師の勤務時間については、高度急性期・急性期について段階的に適正化するように、さらに臨床以外に従事する医師についても考慮したものとなっています。

最も下位の需要推計では、2018年頃に約28万人で医師需給が均衡し、2040年に医師供給が約4.1万人過剰となり、最も上位の需要推計では、2033年頃に約32万人で医師需給が均衡し、2040年に医師供給が約1.8万人過剰となるとしています。

したがって今回の検討会では、すでに現時点で将来的な医師供給過剰が見込まれるとして、医師偏在対策について強く進めていきながら、当面の医学部定員についての基本

の方針を提示しています。

現在、医学教育における地域医療に対しての意識づけの難しさ、医師確保対策の限界、女性医師支援、フリーランス医師の対策、専門医制度の問題点など、懸案が山積みのように思えます。

平成29年度4月から始まる新専門医制度は、本来地域医療を支える優れた専門医を育成するよう制度設計されるべきであり、各都道府県に設置される協議会が、都道府県内の医師偏在の有無について、検証・調整するとあります。

しかし、専門研修基幹施設は、おそらく大学病院や都市部の大病院に限られ、それによって専攻医の都市集中がさらに進み、地方の中小病院にとっては、連携施設になっても実際に専攻医の確保は非常に困難になるものと思われます。これでは、医師の地域偏在、診療科偏在はますます助長されることにならないでしょうか。

今後、山口県の地域医療を維持するためにも、山口の地にしっかりと足を下ろしてくれる若い医師の育成が、何よりも強く求められます。

私のセレンディピティ



社会福祉法人
恩賜財団済生会支部
山口県済生会山口総合病院
病院長 城甲 啓治

「セレンディピティ」近年相次ぐノーベル賞受賞のたびに出てくる言葉であるが、適切と思われる日本語が見当たらない。「素敵な偶然がもたらす幸運」ともいわれるが、パスツールの言葉「チャンスは心構えのある者の下にほほえむ」というのが有名であり、しっくりくる。そのような偶然は誰も何時でもあるはずである。気づいていないだけであろう。

「テンコウセンナムナシユウスルコトナカレ…」小学校の頃、母親から聞かされた文句である。無論、意味は分からず、ただうっとうしいだけであった。そもそも歴史は嫌いであった。それから30年の後。「天勾踐を空しうすること莫れ 時に范蠡無きにしも非ず」この文句が目飛び込んできた。場面は、隠岐に配流される後醍醐天皇に対し、児島高德が桜木に書いた忠誠のメッセージであり、中国春秋時代のお話「臥薪嘗胆」へと

繋がってゆく。「天は勾踐（コウセン）を見放したりはしなかった。きっと范蠡（ハンレイ）のような忠臣があらわれて貴方を救出することでしょう」という意味が、びっくりするほど容易に胸に落ちてきた。ただ母から聞かされただけのあの言葉は、パスツールのいう「心構え」になったのかもしれない。私の昔の小さなセレンディピティである。

いま、ゆとり教育の反省から脱ゆとり教育へと模索中であるが、来るセレンディピティへの“心構え”を育む教育になって欲しいものである。

病院スタッフコーナー

地域との架け橋となれる地域連携室を目指して



下関市立豊田中央病院
地域連携室

看護師 坂本 美香

当院は下関市の北部地域に位置し、一般病床47床、療養病床26床（うち地域包括ケア病床8床）を有し、地域医療の中核的な役割を担っています。私は平成25年に退院調整看護師として地域連携室に配属となりました。当院のある下関市豊田町は高齢化率も43%と高く、独居や老老介護といった問題もあり、より一層の地域連携が必要なところです。平成27年4月には新たに社会福祉士も配置され、地域包括ケアシステムの構築に向け、これまで以上に医療・福祉の連携の強化を目指し、日々努力しています。

退院調整看護師として、入院時から本人、家族の想いを聴き、地域との連携を通して退院後の生活を見据えた退院調整を行っていく中で、ADLの低下や認知機能の低下に伴う退院困難な事例も多くあります。病棟カンファレンスへの参加、ケアマネージャーとの情報共有を密にし、本人・家族が安心して住み慣れた地域へ退院できるよう調整を行っています。平成28年4月より地域包括ケア病床を立ち上げ、より地域と密着した退院調整が必要になると感じています。当院は、高齢で慢性期疾患を抱えた患者が多く、疾患を踏まえた継続した看護が必要なため、訪問看護との連携や外来受診時の情報収集、必要時には訪問診療を行い、継続した関わりが持てるよう連携・調整しています。地域に向けては、地域ケア会議への出席、困難事例の検討や地域の問題把握等、情報交流などにも力を入れています。

地域連携室は、患者、家族、地域との連携を行い、地域と病院とを繋ぐ重要な役割があると自負しています。これからも、地域と病院の架け橋となれる地域連携室を目指していきたいと思っています。

スペシャリスト集団の組織化 ―ETUの取り組み―



社会福祉法人恩賜財団済生会支部
山口県済生会山口総合病院
ETUシニア

看護師 湯面 真吾

近年、医療の高度化・専門化により私たち看護師も更なる専門性に特化した看護が求められています。その中で、当院では平成26年度よりETU（エキスパート・チーム・ユニット）という組織を立ち上げ、活動を行っています。ETUとは、より高い専門性を要する部署において経験を積み、高度かつ専門的な知識・技術を持ち活動していくスペシャリスト集団のことです。看護師は一般的に部署間のローテーションにより幅広い知識・技術を身に付けていく体制が多い中、ETUは長期にわたって同一部署で経験を積むことにより専門性を高めていくことができます。また、医師のパートナーとして専門的な看護を展開することで、新たなチーム医療の一端を担うことができます。現在は手術部、救急部、集中治療部、アンギオ室で各ETUメンバーが活動し、私はアンギオ室ETUとして、心臓カテーテルのアシスタント業務（清潔野で使用するデバイスの準備やアンギオ装置の操作等の補助業務）などを行っています。ETU発足後から現在までは、実践を通じた知識・技術の習得や学会参加等による自己研鑽を行ってきました。今後の活動として、自己研鑽で培った知識・技術をもとに、各部署で専門的な看護や診療の補助を実践していきたいと思っています。また、ETU全体の組織としての活動などを検討し、より質の高い看護・医療の提供をめざしていきたいと考えています。

ETU発足後から現在までは、実践を通じた知識・技術の習得や学会参加等による自己研鑽を行ってきました。今後の活動として、自己研鑽で培った知識・技術をもとに、各部署で専門的な看護や診療の補助を実践していきたいと思っています。また、ETU全体の組織としての活動などを検討し、より質の高い看護・医療の提供をめざしていきたいと考えています。

諸会議報告

平成27年度 第6回理事会

日 時 平成28年3月25日（金）15：30～17：00

開催場所 新山口ターミナルホテル

【議決事項】

1. 一般社団法人山口県病院協会平成28年度事業計画並びに収支予算書の設定について

【承認事項】

1. 平成27年度病院協会決算予測について
2. 平成28年度定時総会及び特別講演について
3. 平成28年度事務長部会総会及び第1回研修会の開催について

【協議事項】

1. 山口大学基金支援会会員の就任について
2. 平成28年度診療報酬改定影響度調査について

【報告事項】

1. 県行政委員等の推薦について
 - ・山口県医師会地域医療対策委員会委員
会 長 木下 毅（再任）
 - ・山口県献血推進協議会委員
副会長 水田 英司（再任）
 - ・山口県医療勤務環境改善支援センター運営協議会委員
理 事 神徳 眞也（新任）
2. 県各種委員会等の報告について

木下会長

 - ・山口県医療審議会医療法人部会 （2月17日）
 - ・山口県医療対策協議会 （2月18日）
 - ・山口県医療審議会 （2月24日）

三浦副会長

 - ・山口県救急業務高度化推進協議会 （2月18日）
 - ・山口県予防保健協会定例理事会 （3月17日）

神徳理事

 - ・山口県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 （3月10日）

高橋理事

 - ・山口県高齢者保健福祉推進会議 （3月17日）

玉木理事

 - ・山口県訪問看護推進協議会 （2月24日）

名西理事

 - ・山口県がん対策協議会 （2月24日）

福本理事

 - ・山口県肝炎対策協議会 （2月9日）
3. 地域医療委員会報告事項について
4. その他

県審議会、他団体役員会、行事等の出席確認について

平成28年度 第1回理事会

日 時 平成28年5月17日（火）15：30～17：00

開催場所 新山口ターミナルホテル

【議決事項】

1. 平成28年度定時総会提出議案について
 - ・平成27年度事業報告及び収支決算について

【承認事項】

1. 平成28年度病院優良従業員表彰について
2. 平成28年度診療報酬改定影響度調査について
3. 平成28年度医療懇話会の開催について

【協議事項】

1. 夏季医療経営講習会について
2. 山口銀行主催セミナー「平成28年度診療報酬改定セミナー」後援依頼について

【報告事項】

1. 県行政委員等の推薦について
 - ・公益財団法人やまぐち移植医療推進財団評議員
理 事 神徳 眞也（再任）
 - ・山口県高齢者保健福祉推進会議委員
理 事 高橋 幹治（再任）
2. 県各種委員会等の結果報告について

三浦副会長

 - ・山口県社会福祉審議会（第2回） （3月24日）

水田副会長

 - ・山口県献血推進協議会 （5月12日）

【その他】

1. 病院の災害用備蓄について
2. 熊本地震への協会としての対応について

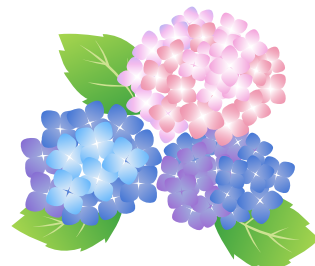
平成28年度 第1回情報管理委員会

日 時 平成28年6月14日（火）15：00～17：00

開催場所 新山口ターミナルホテル

【協議事項】

1. 7月号の発行について
2. 10月号の発行準備について
3. その他



研修会報告

平成27年度 医療事務担当職員研修会

平成28年3月18日（金）山口県総合保健会館 多目的ホールにおいて平成27年度医療事務担当職員研修会が開催され、事務長はじめ医事担当者など303名が参加して行われた。

【研修会】

テーマ 「平成28年度社会保険診療報酬改定の概要」

講師 厚生労働省中国四国厚生局山口事務所

指導課長 清水 信治 氏

管理係長 植野 愛 氏



研修会風景



清水氏



植野氏

事務長部会コーナー

平成28年度 山口県病院協会事務長部会 第1回 総会及び研修会報告

平成28年6月13日（月）、山口グランドホテルにおいて、平成28年度山口県病院協会事務長部会第1回総会及び研修会が開催され、73名の参加があった。

【総会】

議題 平成28年度山口県病院協会事務長部会役員改選について

富成常任幹事、重政常任幹事の退任に伴い、新役員に山口・防府支部より三原氏、下関支部より高田氏が選任された。

平成28年度山口県病院協会事務長部会役員は以下の通り。

部会長 橋本 雅徳 氏（周南記念病院 事務局長）

副部会長 嶋崎 隆郎 氏（都志見病院 事務長）

副部会長 小野 靖 氏（医療法人新生会 法人事務局事業部課長）

常任幹事 室田 義文 氏（尾中病院 経営管理部長）

常任幹事 三原 忍 氏（山口県立総合医療センター 事務部長）

常任幹事 高田 和土 氏（光風園病院 総務部長）

【研修会】

演題 「医療事故調査制度と院内の医療安全体制」

講師 国立病院機構 福岡東医療センター

病院長 上野 道雄 氏



総会風景



研修会風景



上野道雄氏

総会及び研修会終了後には意見交換会が開催され、参加者たちは有意義な時間を過ごした。

お知らせコーナー

山口県健康福祉功労者（優良看護職員）知事表彰

6月19日、山口県病院協会より推薦した5名の方が、多年にわたり看護業務に従事した功績により山口県健康福祉功労者（優良看護職員）知事表彰を受賞されました。

おめでとうございます。

有井 美佐子（山口赤十字病院）
 今西 和美（岩国病院）
 門田 美津江（米沢記念桑陽病院）
 福田 美登里（山口大学医学部附属病院）
 松永 早苗（徳山医師会病院）



今西氏

左より受賞者 有井、門田、
 福田、松永の各氏

会員等の異動

会員の變更

・山口宇部医療センター	病院長 松本 常男（変更前	病院長 上岡 博）
・小郡第一総合病院	病院長 藤井 裕之（変更前	病院長 土井 一輝）
・下関市医師会病院	病院長 真弓 武仁（変更前	病院長 時澤 郁夫）
・小郡まきはら病院	病院長 牧原 紀彦（変更前	病院長 牧原 浩）
・宇部興産中央病院	病院長 武藤 正彦（変更前	病院長 福本 陽平）
・日良居病院	病院長 松尾 卓久（変更前	病院長 長崎 哲男）
名称・会員の變更		
・山口県済生会豊浦病院	病院長 中司 謙二（変更前	下関市立豊浦病院 病院長 上領 頼啓）

平成28年度医療ガス保安講習会（主催：一般社団法人日本産業・医療ガス協会）

医療ガス保安講習会が山口市で開催されますのでご案内いたします。

開催日 平成28年9月15日（木）13時～17時
 場 所 山口グランドホテル（新山口駅前）

病院協会の主な行事予定

○7月4日	初級職員研修会	（会場：山口県総合保健会館）
○7月8日	医療懇話会	（会場：ホテルニュータナカ）
○7月22日	第2回理事会	（会場：新山口ターミナルホテル）
○8月26日	夏季医療経営講習会	（会場：山口グランドホテル）
○9月29日	栄養関係職員研修会	（会場：山口県総合保健会館）



編集後記

★時代と地域に調和した専門性の高い医療センター、専門医制度と医師需給に関する今後、セレンディピティ、退院支援の本流、ETUの取り組みと今回も精力的なご寄稿を賜りました。難題ばかりを吹っ掛けられている中で、言葉の意味が分かっただけでも気持ちが多少スッキリしてきます。★岡学長の大学から発信する研究ノートからヤマミの活躍をはじめ、新たな国際総合科学部の創設で知力と人間力でグローバル化を推進されるという趣旨の特別講演に、地域の夢も膨らみます。県内企業の実力として、売上高100億円を超える企業が約80社と意外と多くあり、協働教育プログラムで人材育成、定着促進を進める事業も紹介されました。★リオデジャネイロオリンピックがいよいよ近づいて参りました。さらに4年先の東京オリンピック開催時のスケジュールに、頭を悩ませている方がたくさんおられます。近そうで見通しは？その前に平成30年同時改定が控えています。（西田一也）